



高いシェアを誇る大型バイクの筐体表面処理

当社の採用方針

- 求める人物：前向きに挑戦する方。向上心、行動力のある方。
- 採用方法：適性試験・一般教養試験・面接(会社見学可)
- 勤務時間：8:05~17:10(休憩70分)
※時間外約10時間程度/月
- 年間休日：100日

ココがスゴイ！ POINT

2
point

表面処理技術に
高い評価

経済産業大臣賞を受賞

2006年、全国のモノ作り中小企業のなかから、経済産業省が初めて実施した、第1回「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定され、表彰を受けました。我が国産業の国際競争力を支える企業として認められました。



研究開発にも注力

1
point

世界に誇る 研究開発力

2019年、同社の研究員が世界の科学者2000名に選ばれました。社員の成長をサポートするため、資格取得ができる環境を整えています。また、年間10件以上の特許取得を目指しています。

3
point

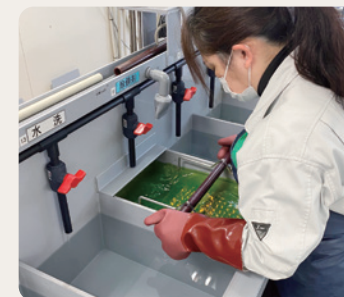
大型バイク筐体
表面処理シェア

国内90%・ 世界30%

大型バイクの筐体（スイングアーム）の表面処理における当社のシェアは、国内の90%、世界でも30%におよんでいます。

新領域への挑戦 表面処理の力で世界を動かす

環境に配慮した最先端の技術と品質で
時代のニーズを先取りし、
新しい価値を生み続ける



環境に配慮した最先端の技術



金属に自然藍を含んだ染料を染みこませて着色する
「カラーアルマイト技術」を用いた商品

表面処理技術で世界を変える

小さな大企業を目指し、世界に通用する企業づくりを目指しています。研究開発に力を置き、世界の大企業が振り向く技術の研究開発を宮崎の若者に実感してもらいたい。県内の雇用を拡大し、外貨獲得、県内取引先を拡大し信頼され評価される中核企業を目指し邁進したいと思います。

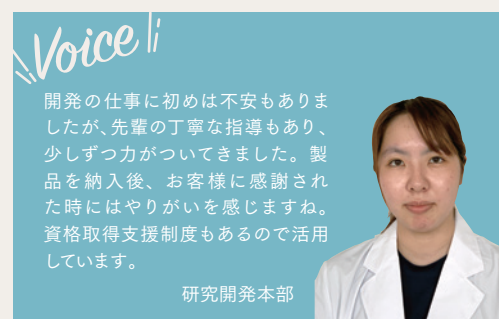
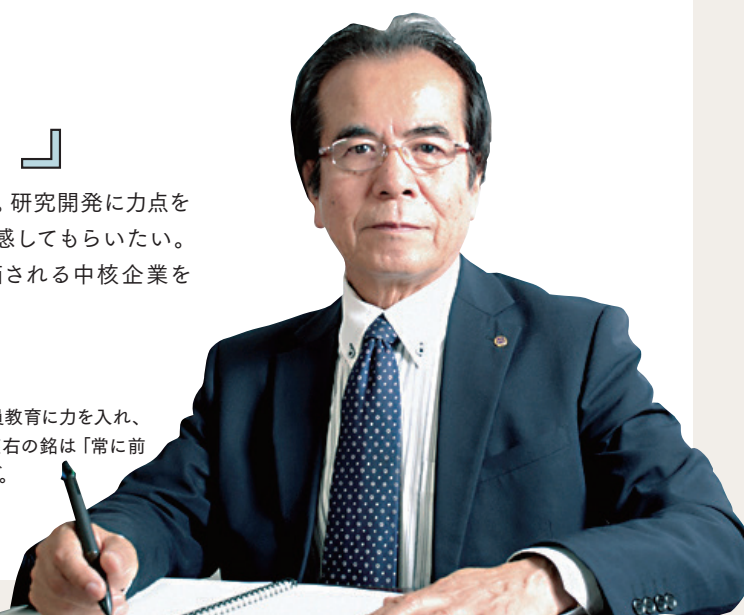
代表取締役

柳 義一

Yanagi Yoshikazu

1950年生まれ 〔宮崎市出身〕

日向学院―千葉工業大学金属工学科卒業。社員教育に力を入れ、個々の能力を引き出し活躍の場を広げたい。座右の銘は「常に前を向き前進」。趣味はゴルフ、カメラ、ランニング。



開発の仕事に初めは不安もありましたが、先輩の丁寧な指導もあり、少しずつ力がついてきました。製品を納入後、お客様に感謝された時にはやりがいを感じますね。資格取得支援制度もあるので活用しています。

研究開発本部



21 ミクロエース 株式会社
〔業種〕金属製品製造業

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町京出1411-1
TEL.0985-25-4696 FAX.0985-25-4331

代 表：代表取締役 柳 義一
資本金：5,000万円
社員数：87名(2021年7月末現在)
創業年：1952年



<http://micro-ace.co.jp/>

業界屈指の技術力で
顧客のニーズに対応した製品をタイムリーにお届け

1952年に創業したミクロエース株式会社。自動車部品、航空機部品、半導体関連部品など幅広い業種でめっきを中心とした表面処理を手掛けています。

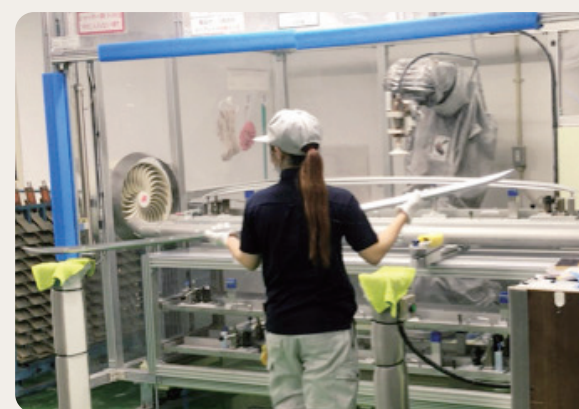
表面処理技術を活かし、GPSの位置情報精度の格段の向上や航空機の炭素繊維の再利用技術構築をはじめ、スマートフォンなどに使用される電子チップ部品の小型化・高性能化を実現した「RZMシリーズ」で高精度表面処理を可能にするなど、数々の製品を生み出しています。

「これまでも独自の戦略で他社との差別化を図ってきましたが、現在は生産効率を上げるため、めっき業界で初の試みとなるロボットの導入計画にも挑戦しています」と柳社長。2007年には「有害物質を使わない」+「排出しない」をコンセプトとしたTRC（テクノリサーチセンター）工場を新設。フェイルセーフシステム（誤作動・誤操作対応型）の排水処理装置や、鉛フリー、6価クロムの代替処理液の導入・開発で、環境への負荷物質の削減を目的とした表面処理の新技術にも着手しています。

近年は、多数の研究開発員を登用し、産学官連携の研究開発にも力を入れている同社。「表面処理で世界を変える技術」を

展開し特許申請論文を発表したことで、世界の大企業からの問い合わせも増えています。また、めっき表面処理装置を10ライン、アルマイト設備6ラインを保有するなど国内でも最大級の処理能力を誇り、国産車のルーフレール、大型バイクのスイングアーム、パソコンの筐体の表面処理等にも採用されています。

「世界の大手企業が驚くほどの技術開発、それを発信できる環境があることを宮崎の若者に伝えたい。これからも豊富な経験と蓄積された技術を活かし挑戦し続けたい」と柳社長。海外でのさらなる事業領域拡大を目指します。



常に革新的な開発でオンリーワンを目指す